

因伯兎

いんぱくと

発行月：2017年 2月

発行元：鳥取県民主医療機関連合会

中四国の民医連で 研修説明会を開催！

1/14に、中四国の民医連加盟病院による研修説明会が、高松市の「サンポート高松」で開催されました。鳥取大学のほか、島根大学や愛媛大学など様々な大学から学生が参加してくれました。

「何科に進んでも、家庭医マインドを忘れないで」

研修説明の前に記念講演として、NHKの臨床推論番組「ドクターG」にも2度出演の西村真紀先生にお話頂きました。イギリスで提唱されている「メディカルホーム」について解説。病気を治すだけでなく、患者さんの生活背景を知り、一人ひとりに向き合うという医療を実践する拠点であり、「医療におけるあなたのおうち」だと西村先生は語ります。



「困ったときにまず相談」でき、そして「最後のより所」でもあるメディカルホーム。私たち民医連も以前から目指して実践してきました。西村先生も講演の中で、「(民医連の目指すメディカルホームは)臓器別専門医と家庭医の連携で特定の個人と、特定の家族、特定の地域をチームで支える」ものだと紹介しました。ぜひ皆さんも、民医連の病院実習で家庭医療を体感しにお越しください！

また西村先生は、多面的に病気を診る家庭医の視点である「家庭医マインド」を紹介。「何科に進んでも、家庭医マインドを忘れないで欲しい」と、学生に向けてメッセージがありました。



西村 真紀 先生のプロフィール

東海大学卒業後、神奈川県の川崎医療生協あさお診療所などで家庭医として活躍。現在は高知大学の特任准教授となり、家庭医療学講座などを担当している。日本プライマリケア学会の認定 1 期生。

講演のあとは、中四国の各県から研修報告を行いました。鳥取からは鳥取生協病院 1 年目研修医の西出先生より研修の様子が紹介されました。また、鳥取県作成の**研修紹介ビデオ**をご紹介します。

研修紹介ビデオは「鳥取県臨床研修指定病院協議会」

のWEBより見るができます。

ぜひご覧ください！

<http://www.tori-rinsyou.jp>



鳥取県臨床研修指定病院協議会



震災関連死は生ませない！

鳥取中部地震の支援活動 第2弾

2016年12月23日に、鳥取県倉吉市にて、震災支援活動を行いました。今回は、11月に行った支援活動で聞き取りをした際に、継続した聞き取りや見守りなどが必要だと思われる被災された方に、改めて訪問し状況をお聞きしました。

訪問した組合員さんからは、「家内の不安が強く、普段着で寝ている」



「屋根修理は春以降で、修理代も数百万円必要」

「罹災証明の記載が分からない」など、まだまだ安心した生活に戻られていない現状が分かり、なかなか復興がすすまない現状にあきらめの声も多くありました。

17年1月29日には、復興支援として「新年のつどい」を開催しました。メイン企画は

田辺鶴瑛氏による講演。両親の介護の経験を、ユ

ーモアたっぷりにお話頂きました。また、地元の福祉施設の方々の「希望太鼓」、組合員の「大正琴」の演奏で盛り上がり、米子医療生協の仲間も参加している「ゴスペルオーブ」の素敵な歌声に癒され、被災された方々や地域の方々から

笑顔が見られました。

これまで鳥取民医連・

鳥取医療生協では、「震災関連死は生ませない！」をスローガンに、県内外のみなさんと協力して、支援活動に取り組んできました。今後は、地域訪問で得たご意見を行政へ報告し、被災された方々への支援制度をより良いものへするために、他団体と協力して活動して参ります。



高校生・予備校生 模擬面接

鳥取民医連では、医学科を受験する高校生・予備校生の皆さんに、模擬面接を実施しています。

この冬はこれまで鳥取市と米子市で開催し、11月に7名、12月に1名、1月に5名の高校生・予備校生の皆さんが参加しました。「なぜ医師を目指したのか」「最近気になっている社会問題は？」など、本番を想定した質問を行い、みなさん緊張しながらもしっかり答えていました。

鳥取市では鳥取生協病院の研修医が、本番に向けてのアドバイスや、大学生活や医師の仕事についての交流も行っています。詳しくは鳥取民医連ホームページをご覧ください。

私たち鳥取民医連では、医師を目指す学生の皆さんを応援しています。



研修医コラム

研修医 2 年目での地域医療体験の様子です。わかさ生協診療所で外来研修や往診などに同行させて頂きました。特に今年の 1 月は雪が多かったので、雪かきをしながらの往診や雪のエピソードを患者さんと話したりして、楽しく研修させて頂きました。



←冬の若桜往診
↓消防署 1 日研修
の様子



冬のわかさオススメです！ぜひ実習に来て体験してみてください。

医学生、憲法を学ぶ

—学校で教えて欲しかった憲法のハナシ—

1/28(土)、米子医療生協主催の憲法学習会に学生 2 名が参加しました。講師は米子市の高橋敬幸（たかはしひろゆき）弁護士。自民党改憲草案について、詳しく教えていただきました。

改憲草案の大きな特徴は、①日本が戦争する国となること、②個人よりも国家を上におく「国家が主人公」となることの 2 点があります。

参加した学生から、「安倍首相が憲法を変えようとしていることに『ヤバイ』と感じて学び始めた。でも学んでいくうちに(憲法に書かれている権利を知り)『権利を主張することは正しい、当たり前のことだ』と考えるようになった」「憲法の学習は特殊なことではない。学校でもっと教えて欲しかった」と、感想を語ってくれました。

サポートセンターでは、自主的に学生さんが集まって憲法を学習しています。みなさんもサポートセンターと一緒に学びませんか？

医療連続講座

「家庭医療学をカジる」

最終回

9 月から始まりました、「家庭医療学をカジる」が 12 月 10 日に第 4 回目を迎え、全日程を終え閉講しました。

「家庭医療って一体どんなもの？」という疑問に、米子医療生協の現役家庭医の梶野医師が応えていくというコンセプトで、述べ 8 名の学生と、1 名の研修医が参加しました。

第 4 回目の今回は、梶野先生が実際に米子市で行っている家庭医療の実態を学びました。学生さんから、「どんな患者さんを在宅で診ているのですか？」と質問があったので、梶野医師から「ついさっきまで診ていた患者さんなんだけど」と、在宅医療を受けている患者さんを紹介

介。「老衰とは何か」、「死は敗北なのか」といった問いかけも織り交ぜながら、梶野医師の死生観、「看取り方」のお話がありました。

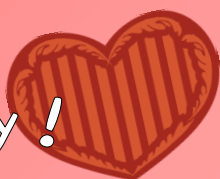
今後も鳥取民医連は、こうした学習会を開いていきます。「こんなテーマの学習会がいい」など、ご意見もお待ちしております。



参加者は約 50 名。地域の組合員が多く参加しました。

今後の予定

February!



模擬面接【高・予備校生】

米子会場 2/20 17:30~19:00

@米子医療生協本部（米子市博労町 3-80-1）

鳥取会場 2/21 17:30~19:00

@鳥取生協病院（鳥取市末広温泉町 458）

中四国医系学生のつどい

第3回実行委員会【医学生】

3/5 10:30~13:00

@岡山医療生協 COMCOM 会館

中四国の医系学生でつくる「つどい」。

今年は愛媛県で開催！災害医療をテーマに
学び交流します。つどいに向けた事前学習や
準備を一緒にしませんか？

March!



受験お疲れさま会【高・予備校生】

鳥取会場 3/16 18:00~19:00

@鳥取生協病院（鳥取市末広温泉町 458）

米子会場 3/18 13:00~15:00

@鳥取民医連医系学生サポートセンター

※詳細は鳥取民医連ホームページで！

第37回 全国医学生をつどい Final Quarter 【医学生】

2017年3月23日(木)14:00 ~ 3月25日(土)13:00

@山梨県 いさわ温泉 華やぎの章「慶山(けいざん)」

全国の医学生でつくる「つどい」。学生が自分たちで
学びたいテーマを考え、毎回多彩な講師をお招きし、
学習と交流を行っています。お気軽にご参加ください。

※詳細は鳥取民医連ホームページで！



鳥取民医連では、病院・診療所での実習、見学を
随時受け入れています。

また、奨学金制度もご用意しています。

詳しくは鳥取民医連ホームページをご覧ください。

【発行元・お問い合わせ先】

鳥取県民主医療機関連合会 鳥取市末広温泉町 571

Tel:0857-29-3598 Mail: igakusei@tori-ren.jp

Webを
チェック!

